

図書館だより



中央中学校図書館
第6号
令和4年11月21日

朝晩の気温がぐんと低くなり、寒い日が多くなってきました。「本と旅する 本を旅する」。
読書のおもしろさは、よく旅のイメージに重ねて語られます。東京大学名誉教授の姜尚カン・サンジュン 氏は、読書を“時空を超えたタイムマシンの旅”と言っています。「本は数千年前の人とも“対話”できる」「あらゆる世界に遊び、著者の独占もできます」と。秋の夜長に「本と旅する 本を旅する」気持ちで読書に親しみましょう。

新しく入った本の紹介



「漫画サピエンス前史」 全2巻

かつて地球上には何種ものヒトがいた。アフリカの片隅でやっと生きていたホモ・サピエンスだけがなぜ繁栄したのか？—歴史学だけでなく、人類学や考古学、さらにはサイエンスの最新知識も駆使して、人類史をまったく新しいかたちで描き出した世界的ベストセラー『サピエンス全史』。著者ユヴァル・ノア・ハラリが第一線で活躍する作家とコラボレーションをして、ついに公式漫画化プロジェクトが始動する！オールカラーのイラスト、ユーモアあふれる数々のエピソード、魅力的なキャラクター陣が織りなす、かつてない壮大な物語！



「赤川次郎 ホラーの迷宮」 全4巻

大ベストセラー作家・赤川次郎さんの作品の中から、ちょっと怖い話や不思議な物語を集めました。収録作品はすべて短編で、気軽に読みはじめることができます。読書の素晴らしさ、想像の世界にはばたかことこの楽しさを知ることのできるシリーズです。



「小説 はたらく細胞」 全3巻

その数、ひとりあたりおよそ 37 兆個(新説)。あなたの体の中で今日もはたらく、細胞たちの物語！細菌に襲われそうになった、新米で方向音痴の赤血球。助けてくれたのは、クールで眼光するどい白血球さん。赤血球は体内に酸素などを運び、白血球は細菌などをやっつける仕事をしています。すり傷、インフルエンザ、花粉症、熱中症…。小さな小さな細胞たちにつぎつぎふりかかる災難を、おもしろく描いた大人気漫画が、楽しい小説になりました！



「5文字で四字熟語」

四字熟語をすべて5文字にしてみたら……!? とっても楽しくわかりやすい、新たな四字熟語のお勉強 BOOK！ニュースや新聞でよくつかわれる、知っておきたい四字熟語を、現代風に、くすりと笑える「5文字」にしてみました……！四字熟語→5文字に変換！+例文+直感的にわかるイラストで、四字熟語の意味を想像しつつ、かわいいネコちゃんが、四字熟語の内容や由来を、話したくなる豆知識とともにゆる〜く解説!気がついたら四字熟語を使いこなせていることまちがいないし！



「マンガでわかる世の中の『ウソ』から身を守る」

「2時間後に 大噴火が起こる!？」
「買った商品が まさかのボロボロ!」
現代の社会は、さまざまな情報であふれています。その中には「本当の情報」だけではなく、「ウソの情報」もたくさんあります。これから先の社会を生きるためには、「情報との正しい接し方」を知ることが大切です。本書を読んで「ウソ」について学び、「ウソを見抜く力」を身につけましょう。



他に、「みんなが知らない美女と野獣」「みんなが知らない白雪姫」「みんなが知らないリトル・マーメイド」「みんなが知らない塔の上のラプンツェル」「みんなが知らない奇妙な三姉妹の話」があります。

「ダークなディズニーみんなが知らないイラズのおはなしセット」 全6巻

「みんなが知らない眠れる森の美女」

『眠れる森の美女』のストーリーなら、多くの人知っているでしょう。中でも悪役の魔女のマレフィセントは、お祝いの宴に呼ばれないというだけの理由で、生まれたばかりのオーロラ姫に「16歳の誕生日で死ぬ」という呪いをかけてしまいます。しかし、なぜマレフィセントは、罪のないオーロラ姫に、死に至るまでの呪いをかけなければいけなかったのでしょうか。妖精の国で生まれ、角ある故にカラスの木に捨てられて、カラスに育てられたマレフィセント、魔女の学校で三人の善き妖精といっしょに魔法を学んでいくべきだった彼女に起きた、切なすぎる悲劇とは!?



テーマ展示のお知らせ

文化の館の司書の方が、テーマ展示をしてくださっています。今回のテーマは、『ようこそ古典の世界へ』。中学生の皆さんにぜひ読んでもらいたい古典作品など、20冊を展示しています。場所は図書室のカウンターの左側です。展示してある本も借りられますので、昼休みに図書室にいる担当の先生に言ってください。

(パソコン処理はできないので、貸出表に氏名を記入してもらいます。)



本の内容を紹介する手書きのポップが貼ってあります。ぜひ読んでみてください。



「算法少女」「とのさまと海」「菅根崎心中」「ヤマトタケル」「聊齋志異」「日本の古典をよむ」「百人一首大辞典」「古事記入門」「絵で見るたのしい古典 枕草子 徒然草」「平安男子の元気な!生活」「絵解き 江戸しぐさ」「14歳からの文楽のすゝめ」「日本の神話」 など

